



創立 15 年余、会員の努力で培ってきた叡智を、  
次のステージで躍進の糧としよう

### 臨時総会・第189回例会

日 時：平成 23 年 7 月 14 日(木) 12:30～15:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：67 名、出席率 94.4% (会員総数 71 名)

#### 1. 開会 有泉例会委員長の司会で開会



出席状況報告があった。  
(上記参照)

#### 2. 会食

#### 3. ハッピーコイン披露

佐々木会長から 28 件のハッピーコイン披露があった。(詳細：5 頁)

### 第1部 臨時総会

#### 1. 開会

#### 2. 佐々木研吾会長挨拶(新年度運営方針)



今回はからずも会長になりました佐々木です。

入会以来 10 年、先輩諸氏に多くのご指導を賜りましたが、会務に精励することで恩返しをして参りたい所存です。よろしくお願ひします。

また、地元八王子の事情・情報には、必ずしも精通していませんので、お気づきの点がありましたら遠慮なく助言をお願いします。

前期の杉山会長年度は、15 周年事業を初め多くの新事業に着手し、文字通り一つの時代を画されました。いわば元服を終えた 16 年目の今期は、これを継承し発展させていきます。

今年度のテーマは“創立以来 15 年余、会員のたゆまぬ努力により培ってきた叡智を、次のステージで躍進の糧としよう”としました。

当クラブの会員数は、草創期の 30 名台から今や 70 名台に達しました。また、会員の年齢層は、

戦前・戦中期育ちの世代から団塊の世代にまで拡大し、加えて現役時代の職業、経歴、経験等の幅も一層広がり、それぞれの意識・感性はかなり多様化しつつあるように見受けられます。

これは、組織の健全性・発展性にとって極めて喜ばしいことであります。それだけに、この際、今一度クラブ結成の原点(“知性、教養、経験を生かして地域社会に知的貢献を”)に立ち返るとともに、社会環境の変化を踏まえて新たなニーズに対応すべく、闊達な議論を尽くしていきます。

いずれにしても、クラブ活動の本質は、親睦と奉仕にほかならず、自ら額に汗して「雑巾がけ」に徹する心構えが望まれます。また、日常のクラブ運営に当たっては、ヒト、カネ、モノ(クラブの事業)の動きの基本を押さえつつ、体力の範囲内で、楽しくのびのびと活動を展開していきたい。

今年度の具体的な運営方針

#### (1) 八王子「宇宙の学校」の開設、運営

クラブ活動の場を、子ども教育の面にまで広げ、あわせて一般市民、行政当局、関係諸団体等との紐帯強化を図る。

#### (2) 「出前講師派遣事業」(仮称)の具体化

今一度内容を吟味し、実現に向け具体化を図る。

#### (3) 生涯学習サロンの充実

一般市民の参加者が増加傾向にあるほか、関係各方面の評価も定着しつつある状況下、新たな会員話し手やテーマを発掘するなど、内容の充実に引き続き工夫を加える。

#### (4) 近隣プロバスクラブとの交流

関東地区の先進クラブとしての立場から、無理のない範囲で近隣クラブとの交流や運営面への助言を進める。

#### (5) 会員の増強

会員数は 70 名台をキープしたい。60 歳代の若

手や女性会員を中心に、多彩な人財を歓迎。

#### (6) 会員の親睦強化

楽しい例会は、クラブ活性化の原点。引き続き配席に工夫を凝らすほか、ハッピーコイン、誕生祝いも継続する。卓話は、楽しく、オリジナリティに富んだものとした。

#### (7) 情報活動の充実

引き続き、読みやすい、親しまれる「プロバスだより」を作っていきたい。バラエティに富んだ投稿歓迎。ホームページはクラブの窓、一層の充実を図っていきたい。

会長の委嘱人事については以下の通りです。

- ・立川富美代会員：全日本プロバス協議会副会長
- ・岡田 尚会員：事務局長

### 3. 議長選出

会則に基づき、佐々木会長を議長に選出。

### 4. 書記・議事録署名人の選出

書記：野口浩平会員

議事録署名人：橋本鋼二会員、八木啓充会員

### 5. 議事

第Ⅰ号議案 2010～2011 年度一般会計決算報告

第Ⅱ号議案 2010～2011 年度活動準備資金特別会計報告

第Ⅲ号議案 2010～2011 年度第 15 回生涯学習サロン特別会計報告

以上 3 議案について、澤渡進前年度幹事から報告、並びに荒正勝会計監査による監査報告が行われ、挙手による採決の結果異議なく承認された。

第Ⅳ号議案 2011～2012 年度一般会計予算 (案)

第Ⅴ号議案 2011～2012 年度活動準備資金特別会計予算(案)

以上 2 議案について永井昌平幹事から提案され、挙手による採決の結果、異議なく承認された。

## 第 2 部 第 189 回例会

### 1. 会長挨拶

運営方針は総会で述べた通りです。例会は楽しく、和やかなものにしていきます。

### 2. 来賓紹介、挨拶

東京八王子南ロータリークラブ (RC)

会長 松村聡様 幹事 長谷部良幸様



### 松村聡様ご挨拶

東京八王子プロバスクラブは、めでたく元服されて 16 年目を迎え、会員数・出席率を含め、目を見張る発展をされています。本年は、従来の“生涯学習サロン”に加えて、“八王子「宇宙の学校」”をスタートさせ、奉仕活動を更に充実されると聞きました。直接肌で感じながら実行する奉仕活動に感服しています。

東京八王子南 RC (会員 58 名、平均年齢 60 歳) の本年の標語は「原点回帰、元気創造ロータリークラブ」です。RC と共に日本全体が元気になろうという願いをこめています。

また、今年“PET 検診”の推進を行います。親子関係にある両クラブの連携をよろしく。

次いで、南 RC 松村会長から、当クラブへ助成金が贈呈され、佐々木会長が御礼を述べました。

### 3. 新入会員紹介



推薦者：立川富美代会員

新入会員：岡部 洽 (ひろし) 氏

八王子生まれの八王子育ち。久保田鉄工を経て、創業間もないキャタピラー三菱に入社し、事業の立ち上げから 30 年弱勤務。実家の家業に従事後、縁あって八王子体育協会に入り、現在事務局長。

仕事関連以外の会は始めてですが、よろしくお願い致します。

### 4. バースデー報告



佐々木会長より 7 月のバースデー報告があり、浅川文夫、岩島寛、高取和郎、澤渡進、濱野幸雄の 5 会員に、池田ときえ会員お手製のバースデーカードが贈られた。

### 5. 幹事活動方針、報告 永井幹事



**活動方針:** 会長を補佐して、会員の皆様が楽しくクラブライフを過ごせるよう努力して参ります。宮城副

幹事ともどもよろしく申し上げます。

**報告:**個人が例会で配布する資料については、幹事、例会委員長が事前に把握しておくために、次のいずれかのルールに従って頂きたい。

- (1) 理事会に 10 部提出。例会では下記(2)による
- (2) 例会開始の 1 時間前までに例会委員会に提出
- (3) 例会受付に置く (入場時に各会員が取る)。

## 6. 委員会活動方針、報告

### (1)例会委員会活動方針 有泉委員長

会長方針を受けて、会員の皆さんに満足頂ける例会をめざし、以下の方針の基に活動します。

- ① 委員会は、受付・配席・資料配布・集金等の担務を定め、各員が役割を確実に実行する。
- ② 各委員会の活動報告は、斬新なテーマと工夫による発表を期待する。
- ③ 卓話はオリジナリティに富んだものにしたい。
- ④ 小さな幸せをみんなで大きく育てるハッピーコインの継続。
- ⑤ 会場配席は、7・8 月は委員会単位、9 月以降は全席自由とし、会員相互の親睦交流を深める。  
ご協力よろしく申し上げます。

### (2)情報委員会活動方針 馬場委員長



当委員会の 3 つの主要ミッションを、以下の方針で推進いたします。

- ①「プロバスだより」の編集・

発行

- ・読まれ愛される「プロバスだより」をめざす。
  - ・編集マニュアルを整備して、パソコン初心者でも編集可能とすることをめざす。
  - ・編集・写真・投稿記事・校正の各担当を決めて、分担して推進する。
- ②ホームページの維持管理を行うとともに、外部との関係が拡大している当プロバスクラブのホームページのありかたについて再検討する。
  - ③生涯学習サロン抄録作成については、前年度路線を踏襲する。

上記主要ミッションの遂行を通じて、会員相互理解とコミュニケーションの改善に貢献します。

### (3)会員委員会活動方針 浅川委員長

プロバスクラブ (PC) の設立趣旨に、「お互いに親睦をはかり、社会にも貢献できて、高齢者が

生き生きと活動できる場にしたい」とあります。その成果をよりよくするためには、会員自身の質が問われます。PC にふさわしい人をより多く得るために努力します。



しかし、いくら優秀な人材でもその力を発揮できなければ何にもなりません。会員の力が有効に活用できる環境にあるかどうか、その環境をよりよくする手立てがないか、皆様とその都度相談していきたい。

会員委員会の業務は次のとおり。

- ①新会員の募集と資格審査。
- ②年会費および活動準備金の徴収 (7 月、1 月の例会受付にて集金)。
- ③生涯学習サロン開催時の一般参加者窓口業務
- ④会員名簿の作成、名簿への新入会員追加 (随時)、期末確定名簿作成。

### (4)研修委員会活動方針 岩島委員長



会長の運営方針を受けて、当委員会の活動方針を、次のように致します。

- ①「出前講師派遣事業」(仮称) 関連: 本年 6 月配布された講師一覧表の整備・充実化を図ります。更に、地域奉仕委員会と連携し、派遣対象団体への PR 活動をおこない、チャンスがあれば試行的実施を開始する。
- ②例会を楽しくする卓話の推進: 昨年の談論風発会での提言・その 1=「卓話を重視し、それに対するサロン風意見交換の時間を設けてはどうか」、その 2=「卓話を自己啓発の場にしてはどうか」、について例会委員会と議論する。
- ③野外研修の企画、実施: 自己啓発と会員同士のより親密な交友関係を築くため 11 月 10 日(木)に実施する。
- ④同好会支援: 自主的に楽しく活動できるように、支援する。

### (5)地域奉仕委員会活動方針 田中委員長



新旧多彩なメンバーの下に、十分な連携を取りながら計画を進めて行く一方、実行に当たっては全員が一致協力して活動いたします。



活動方針は、今までに築き上げてきたものを大切にしながら、確実に実施してゆくことを基本とし、具体的には下記の通り。

#### 第16回「生涯学習サロン」

- ・昨年度計画され、東日本大震災のために実行不可能となった講座・野外サロンについては、可能な限りそのまま踏襲する。
- ・講座数は前年と同じく、4講座×3週＝12講座で計画する。
- ・開講式、閉講式の特別講話は衆知を集めて、計画する。

### (6)交流担当活動方針、報告

#### その1:活動方針 山崎理事



各種の交流活動により、相互理解を推進します。

具体的内容は次の通り。

- ①全日本プロバス協議会副会長の立川会員を補佐し、全日本の活動に協力する。
- ②関東ブロックの幹事クラブ（鎌倉 PC）と協力し、関東地区の各クラブとの交流を深める。
- ③近隣友好クラブ（多摩 PC, 日野 PC）と密接に交流し、相互の発展を図る。
- ④その他
  - ・東京八王子南 RC との連絡窓口、例会・行事の案内。
  - ・八王子市民活動協議会との窓口、行事の案内。
  - ・全日本の友好4 PC に会報を送付。

#### その2:進捗状況報告(第4回)と今後の予定

##### 下山「宇宙の学校」開設準備室長



- ① 6月23日、八王子「宇宙の学校」実行委員会の設立総会と第1回委員会が開催され、規約と今年度事業計画および予算案（配布資料あり）が承認された。
- ② 実行面は、実行委員会所属の運営本部（下山本部長）が推進。「宇宙の学校」は親子参加を基本理念として、10月30日にスタートし、来年1月15日まで計3回のスクーリングを行う。家庭学習教材も提供し、親子で楽しむ家庭学習を期待。
- ③特別協賛企業1社も決定。
- ④前回もお願いしたが、運営本部に当クラブから多数の方々から参画し、協力することを期待。

⑤発足予定の“宇宙の学校支援の会”と“同後援会”への加盟、ご支援をよろしく。

#### その3:報告 立川全日本プロバス協議会副会長



全日本プロバス協議会について、最近の状況を報告します。

会長と2名の副会長（私は東日本地域担当）がおり、現在 PC 総数は101。西高東低だが近年東日本地域が増えている。全国を9ブロックに分けて、それぞれに幹事 PC を置いている。

平均会員数は約30名。東京八王子 PC の設立順位は26番目、会員数は全国第3位。詳細は配布資料「全日本プロバス協議会:各地の動き」参照。

#### 7. 同好会報告

- (1)お茶の会：6月16日お茶碗づくりに挑戦。詳細は、高取和郎会員の投稿で別途報告予定。
- (2)ゴルフ同好会：6月23日にコンペ実施。次回は11月下旬に予定。多数の参加を乞う。
- (3)歴史の会：第20回（7月28日）の案内配布。
- (4)写真の会、囲碁の会、美術鑑賞会：特になし
- (5)麻雀クラブ：第19回（7月19日）の案内。ボケないために麻雀をやきましょう（会員募集）。

#### 8. その他報告

- ①山形忠顕会員から、「幻の名テナー」永田絃二郎と、その関連図書・CDの紹介があった。
- ②塩澤迪夫会員から、「おじいちゃんの孫育て講座」（7・8月に5回開催）への参加推奨があった。

#### 10. プロバスソング斉唱

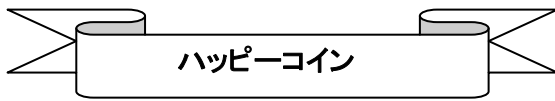
#### 11. 閉会の挨拶 吉田副会長



本日は、佐々木年度の最初の例会と云うことで、会長以下、幹事、各委員長の方々から、活動方針が発表されました。昨年、杉山年度で、15周年の区切りを迎え、今年は次の15年の第一歩を踏み出しました。今年度の活動方針もこれまでに積みあげられたクラブ運営に加え、下山会員からお話のありました、宇宙の学校や、出前講座などが新たに加わり一歩前に進みます。これらの活動方針のもとに、会員全員がクラブ運営に関わりを持ち、親睦を深めながら、クラブライ

フをエンジョイする。それにより、会が発展し、地域への貢献も果たしていければ素晴らしい事と思います。

今年一年よろしく願いいたします。



◆なでしこチーム、メダル確定。日本は女性の時代ですね。 大野聖二

◆阪神となでしこの2連勝バンザイ。 渋谷文雄

◆①八王子「宇宙の学校」実行委員会がスタートしました。②その中で運営本部長の役を仰せつかりました。 下山邦夫

◆新しい会員、岡部様を紹介いたします。仲良くしてください。 立川富美代

◆心筋梗塞をやって丸2年経過、今の健康に感謝、感謝。 土井俊玄

◆研修委員会を何回か行い、そのときのコーヒー代の残(1,700円)を抛出。研修委員会任務の無事完了を祝して。前年度研修委員会(土井俊玄)

◆皆様のお陰で誕生日を迎える事が出来た。

濱野幸雄

◆私の孫娘(中学3年)が、今年は特待生になった。非常にうれしい。

濱野幸雄

◆女子サッカーが、今朝強豪を破り決勝戦へ。アメリカを破り、是非優勝を祈念する。 宮崎浩平

◆昨年に引き続き、今年も楽しいクラブライフをエンジョイ出来ることを願って。 吉田信夫

◆本日は、新年度最初の総会、例会です。今後1年間、新年度役員ともどもよろしくお願い致します。

佐々木研吾

◆また一枚、絵手紙がふえます。 浅川文夫

◆新年度おめでとうございます。 下田泰造

◆ホトトギスの鳴き声を録音しました。6月18日午前3時35分、自宅上空を南から北へ、9回程、鳴きながら飛行しました。 荒 正勝

◆ごほうびでりっぱな抹茶ちゃわんをちょうだいしました。怠けずにおけいこに励みます。ありがとうございました。 池田ときえ

◆1年間、例会委員会を何とか務めさせて頂きました。会員諸兄弟のご協力に感謝、感謝。東山 栄

◆新内閣の発足を心からお慶び申し上げます。理事の皆様、お体に気をつけられ、この一年のご活躍を祈ります。 澤渡 進

◆クラブ16年度、佐々木丸の出帆おめでとうございませう。 杉山友一

◆猛暑が続いています。無理をせずこの時期をのり切りましょう。 宮城安子

◆誕生日の祝いに、2人の息子から自転車をもらいました。 高取和郎

◆76才の誕生日を迎えて、いよいよ young old から old old の世代に突入し、真の「青春」が問われる世代となり、いささか緊張しています。

岩島 寛

◆健康に恵まれ、無事・平穩の内に結婚五十周年を迎えることが出来たことを感謝しております。

岩島 寛

◆今朝は3:30からテレビにかじりつき。朝からハッピー!! なでしこジャパンが初の女子ワールドカップでスウェーデンを破って決勝進出。バンザイ。決勝戦はアメリカを破って優勝を願いたい。その時にはバンザイ、バンザイ。

飯田富美子

◆老体が、これが最後という海外旅行。帰国後に、次も行けるぞと思える幸せ。

馬場征彦

◆7月12日、歯科治療し28本の歯が揃いました。3年間、不便していた2本の歯をインプラントしました。詩を歌う声楽の大切な「商売道具」が完璧になり、新たな上達(!?)を期待しワクワクしています。

山形忠顯

◆「なでしこジャパン」の決勝進出を祝して。めざせ優勝!!

野口浩平

◆節電に気を配り、熱中症に気を配る毎日。

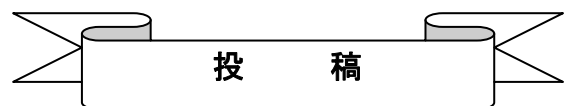
六人目の孫誕生。

夏盛る 力みなぎる 稲の波 河合和郎

◆新病院の地鎮祭が終わりました。

無事故をいのり.....

根本洋子



例会委員長の任を終えて

東山 栄

昨年四月の中ごろ、前会長の杉山さんから「次

期（2010～2011）の当クラブの例会委員長をやってくれないか。」という寝耳に水のお話がありました。



そこで私は「入会して5年になりますが、役員はまだしたことがありませんので自信が持てません。」と一応はお断りしましたが、「プロバスクラブは、指名されたら引き受けなければならない、という不文律があるからやって下さい。」といわれ、このロベタ？な私のどこを見込んだのか、例会委員長の座に座らされてしまいました。

こうなった以上は、私も男だ、引き受けるからには万全の備えで望まなければならないと思い、手探りで準備を始めました。なにせ初めてのことで要領を得ませんので、手掛かりを探したところ、3代前の多村さんが当時の資料をお持ちでしたので、それを参考にさせて頂いて今年度の例会の進め方について私なりの構想を練りました。

プロバスクラブの例会は、ただ漫然と開催されるのではなく、その基本的な意義と在り方について思考した結果、次の5つの目標を設定しました。

- 1) 当クラブの存在を確認する場（place）である。
- 2) クラブ会員相互の親睦、融和を醸成する場である。
- 3) クラブ活動（事業）の具体的発表の場である。
- 4) 過去の検証とクラブの将来を展望する場である。
- 5) クラブの目的である社会奉仕の精神を培う場である。

この目標達成のためのキーワードは、例会において {如何にしてその場（place）を作るか} であって、開催の準備作業として①受付、出欠確認、各種会費集金 ②配席、席札セット③会議資料配布と欠席者への配送があり、宮城、小林、有泉各副委員長が夫々責任者として担当業務を掌握し、他の委員も手分けして実働するという、まさにスタッフが丸となって例会の運営に当たり、会員の皆さんが出席し易い、魅力ある、そして実りある例会の開催を心がけました。

一方、例会委員長の職務は、委員会全体を掌握

することと、例会（或は総会）の司会を担当し、会議を如何に成功させるかは、司会の技量にあるといわれていますので、皆さんに満足を頂くべく全力投球で務めて参りました。

しかし、司会一人で会議の運営など不可能で、開催の段取りを受け持つスタッフの協力があったこそ、会議がスムーズに進行されるもので、この点に関しては心から感謝しております。

さて、例会委員会委員一同が一致協力して目標とした「場」づくりの結果はどうなったのか。

1)については、例年になく会員間に関心が高まったのか、例会年間出席率で昨年までの80%前半を大きく上回る90%近い好成績となり、健全なクラブの存在を確認できました。

2)については、従来の各委員会毎の配席に代えて、前会長の方針もあり、特別の席以外は自由席にし、仲良しクラブにならないよう毎月満遍なく組み合わせを工夫した結果が奏功して、会員相互に親近感が出て、より親睦が深まったという評価を頂きました。

3)、4)、5)については、クラブの各委員会活動（事業）の実施に当たって、社会奉仕の信念[5]のもとに、過去の実績を踏まえ具体的計画の発表[3]により、会員の理解と協力を得て事業を展開し、結果についても詳細に報告して、成果があれば共に喝采し、反省があれば共に再考して将来に活かしていく[4]。そのようなクラブとしての事業全体の研修、研鑽の場が例会であり、・・・かといってあまり鯨張らずに和気藹々とした雰囲気の中で、その場を常に絶好のコンディションのもとで、会員諸兄姉に提供するのが例会委員会の使命であるとして、わがスタッフ一同懸命に努力しました。もちろん、他の会員の皆さんのご協力もありまして、初期の目的である「場」づくりはおおむね達成され、及第点を頂けたと委員一同自負しております。

このようにして2010～2011年度の例会は第188回6月9日を以て終了いたしました。

東京八王子プロバスクラブの皆さんと、特に前会長の杉山さん、前幹事の澤渡さんには大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。



今年の3月11日、東北地方が未曾有の大震災と大津波に襲われ、甚大な被害をこうむりました。そして東電の福島原発がメルドダウンし放射能を撒き散らしました。その結果、大勢の死者が出、大勢の人達が住み慣れた家、土地から避難を余儀なくされました。衷心よりお見舞い申し上げる次第です。ところで、アメリカの同時多発テロは、2001年9月11日でした。日付が同じ11日という偶然ですが、何か薄気味悪い気がしています。

さて、我が国の電力供給の三分の一が原子力発電に依存しており、今後の電力供給に大いに不安がもたれています。そのため一斉に節電が叫ばれています。当初、東電は一律に計画停電を実施し、鉄道会社にも適用し大混乱をもたらしました。今は方針を変更しましたが、あれは思慮を欠いた大きな間違いでした。その後、東京都知事は自販機が多すぎるとコメントし、また、会社のオフィスでは天井の電球の数を半分にしたり、廊下の照明を切ったり、昼休みになると全面的に室内の照明を切り、暗い中でお弁当を食べたりしています。

ここで思い出すのは、私の経験です。大使館に勤務を始めた時のカルチャーショックの一つですが、外交官たちの執務室の照明の暗さです。部屋の照明をうんと暗くし、デスクの上のランプを点けて執務しているのです。また、カナダで一般家庭の夕食に誘われてお宅に何うと、これまた室内の照明をうんと暗くしてあります。レストランの照明も暗いです。考えるに、オフィスでは集中力を増すため、家庭ではロマンチックなムードを醸成するための、北米大陸の生活文化なのでしょうか。つい先日もNHKのTVで説明していましたが、日本で店舗の照明は750ルクスとなっており、世界でも格段の明るさに決めてあるそうです。JIS規格の変更も検討するようです。我々日本人は、明るすぎる夜を過ごしているのは、間違いありません。また、報道によると、パソコンがビジネスの必需品となっている今日、天井の照明をおとしてみると、そのほうが画面が見やすく仕事がやりやすいという、思いがけない反応もある

ようです。

節電のために電球をLED（発光ダイオード）に換えるのが、今後増えそうです。LEDが省エネ・長寿命を売りに世の中に出て暫く経ちますが、値段が高いのが玉に瑕です。我が家においても、歳をとってガスを扱うのは危ないと考え、オール電化にしましたが、節電に少しでも協力をとと思い、電球が切れたときにLEDを買いに行くと、値段が非常に高くびっくりしました。それで洗面所と廊下だけにしました。蛍光灯と同じで、所定の明るさになるまで、少々時間が掛かります。ところがつい先日の報道によると、ノジマ電気が自社ブランドのLED電球を、期間限定ですが低価格で売り出したそうです。大手LEDメーカーのパナソニック、シャープ、東芝ライテックなども、追随するのではないのでしょうか。

LED電球の光量の表示ですが、「ルーメン（lm）」という数値だそうです。業界団体の「日本電球工業会」がLED電球の明るさ表示のガイドラインを定めたものです。我々は今まで、「ワット」という数値で慣れ親しんできたので、戸惑いますが、ワット（w）とルーメン（lm）の換算表が紹介されています。

白熱電球(ワット)	20	30	40	60	100
LED電球(ルーメン)	170	325	485	810	1520

最後に、私の室内照明の好みは、明るいのが大好きで、カナダのホテルに泊まる時は、いつでも室内のランプを全部全開にしておりました。老人はより多くの光量を必要とすると理解しており、遠慮なく電気を使える日が早く来るよう願っています。

## 太陽熱を利用した温水器十余年の記録から 橋本鋼二



つくば研究学園都市に住んでいたころ、太陽熱を利用して水温を上げる温水器の中で、屋根には太陽光発電のパネルに似た薄い集熱器だけを置き、小さなポンプで不凍液を循環させて、地上にある貯湯タンクで熱交換し水温を上げる強制循環式のモデルを見



て興味を持った。

設備費が高く、公費補助はないので普及するとは思えなかったが、遊び心半分で、1997年3月、八王子のわが家にその温水器を入れることにした。面白そうなので、貯湯タンク内の水温の変化を記録してみたくなり、妻が1日2回10年以上もの長い間その役を受け持ってくれた。そのデータは膨大である。同時にガスの消費量も記録が残っている。温水器によって炭酸ガスの排出量は減っているのか、「エコ・エコロジー」が話題になることが多かった昨今、十余年のデータを評価してみた。

### 焚かずに風呂に入れる日があるのか

1日2回、朝と夕方温水の温度を記録することにした。水温は日照時間が長ければ大きく上昇し、曇天でもある程度上がる。貯湯タンクの水量は3000、月平均すると、3月から9月ころまでは毎日20から25度くらい、冬の1月は好天が多いので、寒くとも平均すると毎日14度くらい水温が上がる。

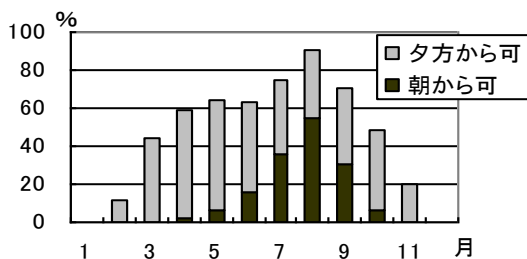


図1 焚かずに風呂に入れる割合(月別)

入浴温度は41度前後を好む人が多そうなので、温水の温度が夕方42度以上の日を、「焚かずに風呂に入れる日」とし、前日の湯が残り朝から42度以上の日は、「朝から焚かずに風呂に入れる日」として2001~2010年の観測データから集計してみた。1年の48%にあたる175日程度は、夕方には焚かずに風呂に入れるのはまずまずなのかも思った。月別にグラフで示したが、3月から10月までは結構焚かずに風呂に入れる日がある(図1)。

### ガスの消費量は減ったのか

温まった水を必要ならさらにガスで加熱し、任意の温度まで上げる給湯システムなので、設置する前と後でガスの消費量を比較してみた。家族構成も変わったので、正確な比較とはならないが、

導入後の98~2010年の平均は導入前の94~96年の平均に比べて6月の28%を最少に1月の96%が最多で、1年を通じては51%と消費量はほぼ半減している。

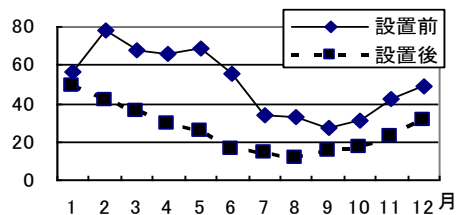


図2 温水器設置前と後の月別ガス消費量(m³)

ガスは風呂の加熱のほか炊事、天候の悪い時には衣類の乾燥などにも使っている。月別平均としてグラフで見ると明らかに差があり、日照時間の長い時期に差が大きい(図2)。

### エコライフとエコノミー

地球温暖化を抑えるために、炭酸ガス排出量を減らす必要があるということが国際的にも論議され、その必要性が企業の対策のみならず、家庭の話題にもなってきた。この点では、温水器は一定の効果があつたようだが、石油と異なりガスの値段は長いことあまり変わらず、設備費が高かったので減価償却に時間がかかる。家族数の少ないわが家ではその能力を生かし切れず、経済的には疑問符が残る。

維持管理費としては不凍液を3~5年に1度交換することになっている。

今後数年無事働いてくれば、CO<sub>2</sub>排出を抑えたエコライフなどと格好良く言えるかも知れないが、まだ経済的という意味のエコには達していないかなと思っている。

温水システムは太陽熱を一時貯蔵する自己完結型として使えるが、家庭用太陽光発電システムの場合「お天道様次第」で余れば売電の方式だけを拡大していくとどうなるのか、オール電化が反エコの落とし穴にはまることもありそうだ。地域や家庭のエコノミーとして今後の太陽光発電システムの周囲にも注目していきたい。

編集後記：7月19日「なでしこジャパン」がワールドカップ優勝！！ 彼女達の“粘り強さ”、“ひたむきさ”に感動！ 情報委員長・馬場征彦